

令和3年度 事業報告書  
法人の名称 NPO 法人街の家族

1. R3年度まとめ

コロナ禍で従来の交流活動が制約されるなか、コロナ関係補助金、事業の発展・充実を支援する民間の助成金を活用し、コロナ後を見据え事業の再構築と充実に対応しました。

<事業計画>

- 1) NPOの2つの事業の柱（地域の子育て見守り愛事業（Aエリア）、三世代生活福祉事業（Bエリア）の両エリアで地域まちづくりに結ぶ関係団体との協働事業を進めるベースを築く。
- 2) 運営の世代引き継ぎを視野に事業コーディネータの役割を再認識し、事業と職制に反映する。子育て世代を中心に有給スタッフ制を採用し事業の充実と世代の交代へ繋げる。

<事業報告>

- 1) Aエリアでは横浜市認可外一時保育事業“まんまる一む”がスタートしました。Bエリアでは、R4年度介護予防総合事業への参加を第1の目標に置き、地域ケアプラザの生活支援コーディネータさんとの協力と全面的な伴走を頂きながら10月～12月にかけて、区行政・区社協関係者協議を重ねました。事業提案はR4年度の家賃補助には結びつきませんでしたが、R4年度のキーとなる関係者・部署との連携と協力活動に結実しました。三世代まちづくりを軸に据えた事業計画へ高い評価を頂く一方、ご指摘頂いた「現場の包括支援センターとの繋がりが不十分」について、生活支援コーディネータ（地域ケアプラザ）の伴走を頂きながら実績を積み上げ、介護予防事業計画の具体化・事業化を進める。

2. R3年度事業成果のR4年度の事業計画への反映

- 1) Aエリア事業では“まんまる一む”事業の充実を続ける。関連の内閣府予算、補助金等へのアプローチを積極的に進め、横浜市協働事業の充実へ繋げる。既に、受給が決定しているSocial Inclusive助成金（かながわ生き活きを市民基金）をこの活動に活かして子ども第三の居場所づくり事業の立ち上げに繋げる。Bエリア事業では、策定した介護予防事業計画の具体化を進めるなかで、コロナ禍で減少・停滞した後期高齢者世代の利用者の増加に結びつける事を日常的に日々意識する。
- 2) 事業活動コーディネータの役割が益々重要となる事（スタッフ）、食事提供事業の本格的再開、オープン日の増加、地域イベントの企画・参加等、収益性の改善に繋げる。これをスタッフさんの処遇改善に繋げる。

【感謝】 新型コロナ蔓延下の事業継続のために活動の場を提供いただく空家ホナさんから、R3前期は全額を、後期は半額を免除（施設等受入評価益・費用）頂きました。R4年度は、事業の継続と発展のために支援をいただきます。感謝

事務局

入園・入学おめでとう！



普通の生活の中の祝い事を皆で楽しむ

内容の充実を進める街の家族の介護予防プログラム



ニコニコ健康クラブ  
クラブの様子 ↓



光輝健康教室

日常の様子(FB) →



教室の様子 →



## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ア 地域の生活福祉事業

##### ① 食と日常生活を中心にした三世代交流事業

- ・日 時 令和3年4月～令和4年3月
- ・場 所 青葉区奈良町及び隣接地域一帯
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 1,386,147円

#### イ 子どもの健全育成を図る活動

##### ① 地域の子育て見守り愛事業

- ・内 容 子育て見守りを中心にした互助事業
- ・日 時 令和3年4月～令和4年3月
- ・場 所 青葉区奈良町及び隣接地域一帯
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 1,528,107円

#### ウ まちづくり活動に関する普及啓発事業

- ・内 容 ホームページ、SNSを活用した情報発信及び地域情報広報誌発行
- ・日 時 令和3年4月～令和4年3月
- ・場 所 青葉区と隣接地域一帯
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 125,751円